

目指す学校像	知・徳・体・コミュニケーションの調和のとれた児童を育成する学校
--------	---------------------------------

重点目標	1 個に応じた指導の充実と学習習慣の定着 2 安全安心な学校づくり 3 子ども・家庭・地域とともに歩む学校づくりの推進 4 教職員の授業力・指導力向上
------	--

※重点目標は4つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。  
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、  
 方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学校自己評価								学校運営協議会による評価	
年度目標				年度評価				実施日 令和7年2月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等	
1	(現状と課題) ○令和5年度の学校評価の保護者アンケートでは、タブレットなどの学習活用の項目で肯定評価の割合が76%、家庭学習の項目で肯定評価の割合が75%だった。 ○ICTを効果的に活用した学習指導や全ての児童にわかりやすい指導・支援の方法をさらに工夫する必要がある。 ○基本的生活習慣の定着とともに、学習習慣の定着を図るため、家庭学習の取り組み方等について、家庭と連携して、基本的なことをしっかりと身に付けさせていきたい。 ○毎朝、正門で児童の様子を把握するとともに、出欠席の状況等を把握し、児童の悩みや相談に対して組織で迅速に対応していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>個に応じた指導の充実と学習習慣の定着</li> <li>生徒指導・教育相談・特別支援教育の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タブレットなどのICTを効果的に活用した授業を展開し、分かりやすい授業、個に応じた指導に取り組む。</li> <li>「Sola るーむ」や「Growth」も活用しながら多様な学びを実現する。</li> <li>「家庭学習の手引き」を周知・活用し、家庭と学校で連携・協力して家庭学習の方法を工夫し、学習習慣の定着を図る。</li> <li>生徒指導委員会を開催して児童の情報を共有し、学校全体で支援を行う。</li> <li>児童理解研修を行い、特別支援教育や教育相談の視点による指導・支援の方法について全教職員で研修を行う。</li> <li>児童及び保護者の相談に対し、面談、ケース会議等を実施し、組織で迅速に対応する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校評価の保護者アンケート「お子さんは、学校でタブレットなどを使って学習することが十分にできていると感じる」で、80%以上の肯定評価を得られたか。</li> <li>学校評価の保護者アンケート「お子さんは、家庭で、進んで学習している」で、78%以上の肯定評価を得られたか。</li> <li>積極的な生徒指導・教育相談・特別支援教育の推進により、児童が主体的に活動し、いきいきと学校生活を楽しむ様子が見られたか。</li> <li>学校評価の児童アンケート「クラスでこまったことがあっても、かいつできてきている」で、88%以上の肯定的評価を得られたか。</li> </ul>					
2	(現状と課題) ○危機の発生を未然に防止するとともに、危機発生時の対応を想定しておくことが重要である。 ○全児童数の約6%に食物アレルギーがあり、給食対応に十分配慮するとともに、一人ひとりの児童の健康状態や配慮事項を十分に把握しておく必要がある。 ○様々な危機に対しては、組織的な対応で児童の安全確保に努めていきたい。 ○施設・設備については、定期的に安全点検を行い、必要に応じて修繕等の対応を図ってきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>危機管理対応</li> <li>施設・設備・予算執行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>衛生・安全管理、安全教育を徹底し、学校事故、交通事故を未然に防止するとともに、傷病者発生時、不審者侵入時、災害発生時等の対応訓練を全教職員で実施する。</li> <li>食物アレルギーに係る対応やけがの防止については、複数のチェック体制で確実にを行う。</li> <li>校地内巡回により施設・設備の安全点検を定期的に行う。</li> <li>危険箇所を把握し、必要に応じて修繕を行う等、教育環境を整備する。</li> <li>施設管理等の手数料と消耗品費の優先順位を決め、効率的に執行する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>衛生・安全管理、安全教育等を徹底し、学校事故を削減し、児童が安全に学校生活を送ることができたか。</li> <li>食物アレルギー対応については、保護者と面談を実施して確認し、教職員の組織的な連携のもと、食物アレルギーに係る事故等を防止できたか。</li> <li>施設・設備の安全点検を毎日行い、危険箇所の有無を確認し、修繕を行う等の対応ができたか。</li> <li>施設・設備の不備による児童の事故を防止できたか。</li> </ul>					
3	(現状と課題) ○令和5年度の学校評価の児童アンケートでは、地域の方々との交流の項目で肯定評価の割合が72%、PTAや育成会行事への参加の項目で肯定評価の割合が71%だった。 ○学校運営協議会において、目指す児童像の実現に向けて熟議を活発に行い、協働活動の実施につなげていきたい。 ○子ども・家庭・地域とともに歩む学校づくりを推進し、学校の教育活動について保護者や地域の理解が深まるようにしていくとともに、子どもの声を学校運営や行事に反映させていきたい。 ○関連する中学校区の小・中学校で連携・協力した取組やあいさつ運動を地域全体へ広げよう取組等についても検討していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティ・スクールの実施</li> <li>PTAや育成会等の地域との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営協議会を中心に、学校・家庭・地域が連携・協力して、協働活動に取り組む。</li> <li>交流給食や行事等を生かし、子どもと地域の方が交流する場を積極的に創出する。</li> <li>地域の教育人材を活用した児童の学習活動や教職員研修会を実施する。</li> <li>PTAや育成会の行事、地域の諸活動の予定や、学校の教育活動について、学校だよりやHP、懇談会等で積極的に情報発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営協議会を年3回開催し、目指す児童像の実現に向けて熟議を行い、学校・家庭・地域での協働活動の実施につなげることができたか。</li> <li>学校評価の児童アンケート「地域の人といっしょに活動するのは楽しい」で、75%以上の肯定評価を得られたか。</li> <li>学校だよりやHP等を通して、児童や保護者、地域への情報発信を定期的に行うことができたか。</li> <li>学校評価の児童アンケート「PTAや育成会の行事に楽しく参加している」で、75%以上の肯定評価を得られたか。</li> </ul>					
4	(現状と課題) ○児童一人ひとりの学びの自律化とICTを効果的に活用した学びの実現が求められている。 ○情報端末の活用に関する教職員研修の充実と学習者主体の授業づくりに取り組む必要がある。 ○教職員自らが資質向上に向けて主体的に研修を受講するとともに、それぞれの教職員のよさが教育活動に生かされるように研修プラットフォーム等を活用した研修奨励を行ってきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員研修の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会議や研修の機をとらえて、市の施策の重点や学校経営方針等を教職員に確実に伝達する。</li> <li>全教員が課題意識をもって公開授業及び相互の授業参観を行い、授業改善に取り組む。</li> <li>教員自らの資質向上に向けて、1人1つ以上の研修を主体的に受講する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員アンケート「市の施策や学校経営方針を理解して、教育活動を進めている」で、80%以上の肯定的評価を得られたか。</li> <li>全教員が学びの自律化や情報端末の活用をテーマに公開授業を行うとともに、相互に実践事例を共有する研修を実施することができたか。</li> </ul>					